



愛知の「働き方改革」取組事例

化成工業 株式会社

所在地：大府市横根町坊主山1-64

業種：ゴム製品製造業

社員数：200名 男性164名 女性36名（2017年12月現在）



取組みの目的

従業員の働きやすい職場、永きにわたり働き続けたい会社を目指して、全社一丸となりさまざまな改善に取り組んでいます。2018年は所定外労働時間削減、計画的な年次有給休暇の取得推進などによるワーク・ライフ・バランスの充実、育児および介護による時短勤務制度の拡充に取り組む予定です。

取組みの概要

○ 労働者の働き方・休み方改革への取組み

- リーマン・ショックや東日本大震災などの世界情勢や天災による生産量変動にフレキシブルな対応ができるよう、「業務効率化プロジェクト」と称して、ライン稼働のための要員シフト体制変更、連続生産体制の見直し、不要な業務の中止、パソコン定型業務のシステム化による処理時間短縮、書類の統一化・標準化による作業工数削減などの取組みを2015年4月より開始。
- 「もの」の整理整頓を行うことを体に染みつかせれば、「仕事」の整理整頓も行うことができるという考えから、職場環境維持改善の基礎的な「5S」（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）運動を徹底。

○ 所定時間外労働の削減に向けての取組み

- 個人別の業務計画表を作成し、日単位での進捗状況をスケジュール管理グラフで示して業務の遅れ進みを把握。部署単位で行う朝一ミーティングの際、各自の前日業務の遅れ進み、当日業務の計画を全員で共有することで、負荷調整、応援体制をとることができるようになり可能な限り作業分配を心掛けている。
- 全社での総工数管理チャートを掲示し、ニコちゃんマーク、NGマークをつけて部署間での相互啓蒙をうながしている。
- 業務を各職場の機能別、年・月・日のサイクル別など層別し、業務一覧を整備。引継ぎ時等に活用し、業務の抜け漏れが起きないように活用している。

取組みの概要

○ 年次有給休暇取得率向上に向けての取組み

● 柔軟な年次有給休暇制度

- ①入社間もない従業員への健康管理を配慮し、基準日を四半期ごとに分けて設けている。
付与日数は、入社初年度に15日付与し翌年以降は1日ずつ増加。
- ②半日単位取得制度を導入し、年次有給休暇の取得を促進している。
お子様の学校行事参加や官公庁へ赴くために取得する従業員が増えている。

現状とこれまでの取組み効果

○ 全社管理間接部門、業務改善による工数削減活動

2016年から2017年で1029件の提案があり、その改善結果として5.2%の工数削減を達成。

○ 月間平均所定外労働時間の推移

2014年	2015年	2016年	2017年
27.4	26.4	24.7	27.0

○ 平均年次有給休暇取得率の推移

2014年	2015年	2016年	2017年
66.5	67.3	71.0	70.2

○ 現在、更なるワーク・ライフ・バランスの推進に向けて以下の取組を検討中

①年次有給休暇の計画的付与

各職場単位で年次有給休暇の取得を1回/月以上、また、年1回は2日連続で取得できるよう計画表を基に管理し、取得率向上とリフレッシュによる健康管理を目的とする。

②バースデー休暇の復活

すべての従業員に1回/年あり公平で申請しやすさがあるため、年次有給休暇取得促進の一環として設定する。